



令和7年10月27日(月)
石垣市立白保小学校
TEL: 86 - 7840
FAX: 86 - 7396



「成長」という名の花が咲きました!!

去った10月18日(土)暑さがまだ厳しい中で盛大に行われた運動会。保護者や白保地域の皆様のご協力のおかげで予定していた全種目を無事に終えることができました。班別リレーや親子リレー、千変万化など保護者・地域の方々にご協力いただいたおかげで盛り上がり、本当に楽しい運動会となったことに対し、改めまして御礼申し上げます。

一つの大きな行事を終えた子どもたちは、「成長」という目に見えない大きな花を心に咲かせました。達成感・成就感を味わった子どもたちが、今後も次々とやりたいことや頑張りたいことが生まれてくるような日常をこれからも生み出していきたいと思ひます。子どもたちのこれからの教育活動に引き続きご協力と励ましと応援をお願いします。

心の奥深くにある「本音」にたどり着くために

子どもはなかなか本音を言いません。本音を言う前に愚痴や不満・弱音を吐いたり意地を張ったりするなどして、親や友達との関係性を悪くしてしまうことも往々にしてあることです。心の奥深くにある「本音」にたどり着くためには、次の4つの段階を踏まえることが必要です。

①関係を築く段階…まずはここからしか始まりません。子どもが関心を抱いている事柄や大事にしている世界観をそのまま受け止め、ゲームやスポーツなどの関心事に大人が関心を寄せることで子どもの心のバリアをほぐし柔らかくしていきます。

②愚痴や不満が出てくる段階…心のバリアがほぐれると、次第に学校や家庭生活での愚痴や不満が聴かれるようになります。このような発言を単なる愚痴や不満とみるのではなく、子どもを身動きできなくさせているものが出てきていると受け止める必要があります。それは他人や環境との関係で感じている葛藤だと捉えることができます。

③傷つきや不安が表出される段階…愚痴や不満が表出され、それが大人に受け止められていると感じると、子どもの心に安心感が生まれさらに深い部分を話題にするようになります。子どもが身動きできない状態から感じる気持ちや体験を具体的に語ることで、心の裏にある隠れている傷つきや不安が表出されるようになるのです。

④願望や葛藤といった本音が姿を現す段階…例えば「親や先生に話を聞いてもらえない(愚痴)それがすごくつらい(傷つき)本当はもっとかまってほしい。(願望)」「うるさくて勉強に集中できない(不満)学習が遅れそうで心配だ(不安)静かにしてほしいけど言えない(葛藤)」などです。大人が「どうしたいの?」「私はどうすればいいの?」などと声をかけると、子どもが求めている願望や心の中での葛藤が引き出されることが多くあります。

このようにして、心の奥深くにある本音の部分がじわりと姿を現すのです。しかし、このプロセスは①→④と直線的に進むものではなく、それぞれの段階を行ったり来たりしながら、少しずつ進んでいくものと捉えた方がいいと思ひます。子どもの現状と心の準備に合わせて無理なく進めていくことが肝要です。

(気をつけたい「子どもの声」の聴き方
筑紫女学園大学：大西良 准教授のコラムより一部抜粋)



の子どもたちがかわいくて仕方がなかったけど、そこは教師としての振る舞いに気をつけて頑張りました。静岡に帰っても、教師になるための勉強を続け、来年の採用試験に合格できるようがんばります！応援よろしくお願いします。3週間ありがとうございました！」指導した6年担任の譜久盛泰先生は、「こんなによくできた実習生はいない！子どもとのやりとりだけでなく、落ち着いて授業もでき、教師としての知識・技能、思考力・判断力・表現力等が備わっている。」と、べた褒めでした。将来、いつの日か必ず母校の白保小の先生として赴任されることを願っています。まずは、来年の沖縄県の教員採用試験頑張ってください！

11月の行事予定



3日(月)文化の日 5年宿泊学習(1日目)

4日(火)5年宿泊学習(2日目)

※PTA 役員会

5日(水)5年生振替休日

6日(木)委員会活動⑦

10日(月)教育相談(～14日)

11日(火)食育講話

12日(水)クラブ⑤

13日(木)お弁当の日②

16日(日)PTA 親睦ソフトバレー大会

19日(水)就学時健診

23日(日)勤労感謝の日

24日(月)振替休日(公休日)

30日(日)登校日 午前授業

※市民防災訓練に参加

12月1日(月)振替休日

7日(日)石P連

ソフトバレー大会



お弁当の日



教育実習を終えて

24日で世持結生さんの3週間の教育実習が無事終了しました。学校の一大行事である運動会を共に運営または子どもたちと参加することで、日常の授業だけでなく教師としての仕事の大切さも学んだ3週間でした。以下結生さんの言葉です。

「思っていたよりもたくさんの事を学ぶことができました。担任以外の仕事(図書司書、養護教諭、事務、管理職等)や他学年の授業も見ながら本当に多くの事を吸収できた3週間でした。6年生の子たちはもちろん、全学年の子と関わることで白保小